

## ～ 【 はじめに挨拶あいさ、です 】 ～

急に気温が下がり、風が急に冷たくなりました。10日前までは半袖で通勤していたことが信じられないほど季節が変わってしまいました。地球温暖化が進むと、夏と冬が長くなり、春と秋はすぐに通る過ぎるという記事をどこかで読んだ記憶がありますが、これも温暖化が進行している証なのでしょう。保護者の皆様におかれましても、気温の急な変化で体調を崩されないように、どうかご自愛ください。

さて学校では先週の木曜、金曜の2日間に渡って3年生への高校説明会を実施しました。

本校から特に進学者が多い高校に依頼し、校長先生をはじめ、教頭先生、受験担当の先生方がおいでになり、その学校の特色や受験制度、特待制度等について説明していただきました。

私は校長室で、先生方をお迎えし、たくさんお話をする機会をいただきました。高校の先生方と話す機会など滅多にないので、おいでになったすべての先生方に質問をしようと思いました。質問は「これから卒業までの4ヶ月で、是非ともつけておいてほしいものとは何ですか。」です。

まずは基礎学力をしっかり身につけて進学してほしいという学校が多かったと思います。高校の先生がいう「基礎学力」とは中学校で学ぶ内容だと思いますが、中には「サンシジュウロク」と言った生徒がいたので、慌てて九九の特訓をしたという先生もいらっしゃいました。鹿南中生の皆さん、九九は言えますよ……ね？大丈夫ですよ……ね？

基礎学力と同様に多かったご意見が、「コミュニケーション能力をぜひともつけてきてほしい。」とのことでした。「コミュニケーション能力」と書くとは何かとても難しそうな、ごたいそうな能力と思われるかもしれませんが、しかし簡単なことです。はきはきと元気な挨拶ができる力(?)が是非ともほしいと仰いました。

近年の就職試験において面接重視の企業が増えているそうです。面接重視ということは職場にすぐ馴染み、いろいろな人と共に働くことができるかどうかを重視するということです。ということは職場で人間関係をつくれずに辞めていく若者が増えているということでしょう。

小学校の時から挨拶は人と人をつなぐ架け橋である、と勉強してきているはず。元気で



さわやかな挨拶を日々習慣にしましょう。朝起きたら「おはよう！」家を出るときは「行ってきます！」帰宅したら「ただいま！」ご飯をいただくときは「いただきます！」寝るときは「おやすみなさい！」書けば簡単なことです。しかしこうした挨拶が習慣づいていない人にとっては、面倒くさい、ばかばかしいことかもしれません。

ただ面接試験では日頃のこうした習慣が知らずに出てしまうものです。高校の、または会社の面接官の目を欺くことはできません。面接のプロフェッショナルは、それが面接前の2、3日に付焼刃的に練習したのか、いつもの習慣として行動しているかはすぐに見分けがつくといえます。

ただ、元気な挨拶は進学や就職のためだけに頑張りなさいと言っているわけではありません。言葉は人を創るといいます。言葉は力を持った言霊です。元気で明るい挨拶を心がけていると、いつの間にか心の中の悪いものが浄化され、心身ともに明るく、健全になっていくものです。

これまでたくさんの生徒に出会い、初任の頃に担任した生徒はそろそろ40歳代になりますが、例え勉強が苦手でも、元気で明るく爽やかな挨拶をしていた生徒が、その後の人生で道を踏み外してしまったという例はたった一つもありません。

心がきれいだから挨拶ができるものではありません。挨拶をくり返すことによって心がきれいになっていくのだと私は思います。挨拶は心をピカピカに磨く研磨剤のようなものなのです。

3年生は卒業までそろそろ4ヶ月となります。もっと何にでも積極的に頑張れる人になりたいと思う人は、いつもの1.5倍の元気で挨拶をするようにしてください。繰り返していると必ず変化が起き始めます。

1年生、2年生も同様です。

先日の部活動集会でも言いましたが、まだまだ本気になって挨拶を頑張ろうという姿は見えません。せつかくのキャプテン会議です。各部キャプテンが率先してリードし、どの部にも負けない挨拶ができるようになってほしいと思います。

今週は水曜日に生徒会認証式があり、金曜日は学習発表会、合唱コンクール(3年生のみ)を迎えます。3年生がこれまで築いてきた鹿南中のよき伝統、文化を1、2年生に引き継いでほしいと思います。挨拶をはじめ、きびきびした動作、荘厳な合唱等、下級生から感嘆の声が出るように。期待しています。



